

「佐渡金銀山」保存・活用行動計画
令和3年度事業点検・評価調査

5-Ⅲ-10

5-Ⅲ-10

章	第5章 世界遺産を核とした魅力ある地域づくり	取組項目	他地域との連携
節	Ⅲ. 佐渡金銀山・関連地域資源を活用した島内及び全県的な魅力の発信	事業主体	佐渡市観光振興課
事業(施策)名	10 他地域連携観光促進事業	関連団体	県観光企画課、新潟市観光振興課、長岡市観光企画課、上越市観光交流推進課、県観光協会、佐渡観光交流機構
事業実施期間	H28～R4		
事業概要	<p>【事業目的】</p> <p>○ 県内外の他の自治体や地域と連携した観光戦略により、誘客効果とその持続性の向上を図る。</p> <p>【事業内容】</p> <p>○ 県内外の他の自治体等に対し、効果的な観光誘致戦略による連携を働きかける。</p> <p>【本計画終了時点のゴール】</p> <p>○ 対岸市、連携市等との事業展開による相互交流を含めた観光連携。</p>		
これまでの取組実績	<p>○新潟市とはインバウンドを含め連携事業を実施しているほか、トキめき佐渡・新潟観光圏を形成している。</p> <p>○長岡市とは、広域観光協議会を設置し、連携したプロモーションを実施した。</p> <p>○上越市とは、観光・航路連携協議会を設置し誘客を行っているほか、北陸新幹線「上越妙高駅」を玄関口とする5市(佐渡市・上越市・妙高市・柏崎市・十日町市)で連携した観光案内所を展開している。</p> <p>○東北観光推進機構と連携してメディア招請事業を行い誘客を図った。</p> <p>○天草、上天草、壱岐、五島と「島の宝連盟」を発足し誘客PRを行った。</p> <p>○会津若松市と連携協力に関する協定を締結した。</p> <p>○新潟・長岡・上越・佐渡の四市が県知事立会のもと交流宣言に署名した。</p> <p>○新潟・庄内DCとして県域+αとして広域的なPRを行った。</p>		
事業計画と実績	<p>【R3年度計画】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 他の自治体と連携したプロモーションを実施する。 <p>【R3年度実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 新潟市・会津若松市・佐渡市連携でメディア招請事業を実施した。 ● 道の駅南魚沼にて佐渡PRコーナーを設置設置した。 ● 国内推薦決定時に、新潟市役所でPRコーナーを設置した。 ● 長岡市とはコロナの影響やJFの貸切可能期間の関係でJF社会実験を行うことができず、それに伴いプロモーションを実施できなかった。 ● 上越市とは両市事業者による商品造成事業を行い、相互送客による連携を行った。併せて、北陸新幹線「上越妙高駅」を玄関口とする5市(佐渡市・上越市・妙高市・柏崎市・十日町市)で連携した観光案内所を展開した。 		
課題・今後の取組	<p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 世界遺産登録を見据え、より一層対岸市等と連携した取り組みが必要である。 ■ JFの貸切可能期間が短いので、他社船舶の貸切を検討する。 ■ コロナ情勢の中、両市事業者に限定することは実績の伸びに繋がらないため、支援事業者の制限はなくし、全国の事業者を対象とする。 <p>【今後の取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 対岸市等と連携した事業を実施する。 ■ 国内推薦を受け、長岡市・上越市ともに商品造成及び集客しやすい状態にあるため、事業者に制度周知を行い、継続して商品造成、プロモーションを行っていく。 		
事業評価	<p>【ゴールに対するR3末の達成度】 ◇ 概ね計画どおりに事業実施できているためBとした。</p> <p>[A・B・C]</p>		

A: 予定を上回る進捗
B: 概ね予定どおり
C: 遅れている。